

第1回 遺伝子染色体検査研究班 班会議議事録

- 1 日時：2023年5月26日 19時00分～20時50分
- 2 場所：オンライン (Zoom)
- 3 出席者：飯野 望 相良 真理子 石橋 佳朋 折原 悠太 園山 政行
松岡 優 小内 玲子
- 4 欠席者：なし

5 議事内容（用紙不足の場合は欄右上にNoを記入し追加使用下さい）

No 1

令和5年度第2回研究班研修会について

(1) 日程と会場について

- (1. 日程：10月20日または10月27日の19時～21時に開催する。
- (2. 開催方法について：遺伝子染色体検査研究班は埼玉県臨床検査技師会の研究班として日が浅いこともあり、県内の横のつながりを持ち、県内の班員を大切にしたいと考え今回は、会場での研修会を開催することとした。
- (3. 場所：大宮ソニックシティまたはレイボックホールを候補として、(1に挙げた10月20日または10月27日で会場として抑えられた方で開催する。

(2) 研修会内容と講師について

- (1. 研修会内容は、「各認定試験の対策と合格者体験談」と称し
認定臨床染色体遺伝子検査師、遺伝子分析科学認定士の認定試験の対策と各認定の合格者に話してもらう。
講師各認定に2名ずつ
認定臨床染色体遺伝子検査師： 試験対策 園山氏
合格体験談 折原氏
遺伝子分析科学認定士： 試験対策 飯野氏
合格体験談 相良氏

(3) 司会について

- (1. 今回は、松岡氏に司会をお願いした。

(4) 次回の班会議日程について

- (1. 2月に予定している研修会の打ち合わせを10月の研修会終了後におこなうことにした。

(5) 2月におこなう研修会内容

- (1. 開催にあたり、2月においても現地開催の予定
- (2. 研修会内容について
アンケート内容に沿っておこなう。
案として次のようなことが上がった。

1. 内部精度管理と外部精度管理
 2. 今後のことを考え、パンデミックが起きた時の検査室運用をどのようにしていくか。
 3. コロナの検査でおこなってきた精度管理、核酸増幅器検査のトラブルシューティング
 4. 感染症核酸増幅検査を大中規模病院、小規模（クリニック）病院など病院規模ごとに振り返り、どのように機器を導入し、どのように検査を行っていたかなど講演をお願いし、今後の他施設の参考になるような講演。
- (3. 今現在、来年2月にコロナの検査がどのようになっているかわからないため、9月、10月の動向をみて決める。
- (6) 6月23日（金）勉強会について
- (1. アンケート報告の内容で「悩み事や心配事」について園山氏より研究班として説明をした方がよいとの意見があった。
実際に検査に携わったひとからの回答があった方がよいので5分から10分程度回答があった方がよいとの意見があった。
議論内容として
 1. プログラムに入っていない人が話すのは生涯教育から見てどうか。
→いままでに他の班で、このようなケースはあったかどうかを松岡氏に確認したところ、班長が熱く語ることはあった。
 2. 研究班からの補足として、話してはどうか。
→園山氏の講演後、座長の石橋氏に軽く説明してもらい、数分程度でまとめて折原氏に話してもらうこととなった。
- (2. 現在、プログラムの講師の順が白神氏、園山氏の順で講演となっているが、当日、園山氏、白神氏の順に変更をする。

次回研究会議予定：2023年10月 日 場所：未定

提出日 2023年5月30日

文責：小内玲子